

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(社福) 仙台市手をつなぐ育成会 おり～ぶ鈎取		
○保護者評価実施期間	令和8年12月11日		～ 令和8年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和8年12月11日		～ 令和8年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一軒家タイプの事業所で部屋数が多く、庭がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の過ごし方(集団と個人、静の活動や動の活動)や利用児の特性に配慮して部屋を分け、活動することができる。 ・庭を活用しての外遊びや畑作業(土起こしから収穫、調理)を体験することで五感を刺激し、好奇心を育むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用児の特性に配慮し、状況や用途に応じた部屋の使い方を行っていく。併せて、清掃などの環境整備を行う。 ・自然との触れ合いを引き続き行っていく。
2	今年度より成長療育システムを導入し、そちらを活用して保護者との連携を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、より速やかに連絡ができるようになった。 ・連絡帳機能で利用しているお子さんのご様子を文章だけではなく写真を入れて公開しており、保護者から肯定的な声が上がっている。 ・利用希望日の申し込みやお知らせ発行もシステムを導入したことで漏れが少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きシステムを活用することで保護者との情報共有を強化していきたい。 ・システムの使い方や今使用しているものから移行する際は保護者向けに丁寧に説明、対応していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一軒家で部屋数が多いことや庭があることでの強みもあるが、昔ながらの建物のため、バリアフリー化されていない箇所が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・スロープや滑り止めの設置など、危険箇所を減らせるように工夫はしているものの、元々の建物の構造は変えられないため、完全なバリアフリー化が難しい。身体的な介助が必要な方への対応としては声掛けや付き添いを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策が取れる箇所は継続して対策をしていき、今まで同様利用児への声掛けや介助などを行っていく。清掃などで施設内を清潔に保てるようにしていく。
2	地域に開かれた事業運営に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方との関わりは多少あるものの、挨拶などのみに留まっている。社会福祉協議会で実施している夏のボランティアを2名受け入れたが、他の機会でのボランティアの問い合わせはなかった。地域の夏祭りで事業所を紹介したり、施設外にお知らせを貼るなどはしているが、事業所内でイベントなどを実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの募集や地域との交流(地域のイベントに出かける、地域で買い物をするなど)がどのような形で実施できるか検討していく。
3			